

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習Ⅲ Seminar of Social Work Ⅲ		2年	前期	木曜日・4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
幡山久美子		非常勤講師 室	木曜日 10:00~16:00	授業中に指示します
授業の概要				
相談援助演習Ⅰ・Ⅱで学んだことをふまえて、相談援助場面におけるコミュニケーションのあり方を検討し、基本的な面接技術を習得する。また事例研究を通して、総合的かつ包括的な援助について実践的に習得しながら利用者主体の援助および利用者理解を深めていく。				
授業の到達目標				
①相談援助場面におけるより効果的なコミュニケーションの技法を習得し、かつ自分自身を振り返る力を涵養することができるようにする。 ②利用者主体の援助および利用者理解について事例研究を通して検討・考察することができるようにする。 ③プレゼンテーションに際し、創意・工夫をすることができるようにする。				
授業の方法				
実習で体験したことや日常生活の中での体験からテーマに沿ったグループディスカッション 相談援助場面を想定した実技指導 事例研究およびプレゼンテーション 理解を深めるための映像教材の視聴				
学習の成果				
①相談援助場面で利用者理解を深める面接技法を身につけることができる。 ②利用者主体の援助のために相談援助の専門職としての課題を検討することができる。 ③理解したことを他者に伝える能力を養い、また相互交流によって多面的な理解も学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要の説明			
第2回目	利用者理解モデルと当事者研究			
第3回目	DVD教材「認知行動療法、べてる式」の視聴（1）			
第4回目	DVD教材「認知行動療法、べてる式」の視聴（2）			
第5回目	当事者の知と浦河べてるの家について			
第6回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（1） 関係性の中で生きることについて考える			

第7回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（2） 関係性の中で生きることについて考える		
第8回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（3） 関係性の中で生きることについて考える		
第9回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（4） 困難との共生について考える		
第10回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（5） 困難との共生について考える		
第11回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（6） 困難との共生について考える		
第12回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（7） 困難との共生について考える		
第13回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」（8） 困難との共生について考える		
第14回目	当たり前の苦勞について考える *レポート（15回目の授業時まで作成していただくこと）		
第15回目	まとめ 利用者主体の援助のためのコミュニケーション		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	グループディスカッションへの積極的な発言。他の人のプレゼンテーションに対する聴く態度と積極的な発言。
レポート		30%	課題に即した記述であること。自分自身に対する振り返りがなされていること。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容（態度含む）		40%	担当箇所へ責任を持つこと。内容を十分に理解していること。他の人にも伝わる声の大きさ、読みやすいレジュメの作成等々。
その他			
教科書と参考図書			
浦河べてるの家『べてるの家の「当事者研究」』 適宜資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。 遅刻厳禁。居眠り・私語・携帯端末の不適切な使用について厳重に注意する。飲食禁止。			